

慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句・ことわざを取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『飛ぶ鳥をおとす』

意味：勢いがとても盛んであること。

ひとこと：昔の有名な物語の表現から引用した言い方。

使い方：あの会社はいま飛ぶ鳥を落とす勢いだ。

『途方(とほう)にくれる』

意味：よい方法が無くて困りはてるさま。

ひとこと：“途方”は方法や手段のこと。

使い方：知らない土地で道に迷って途方にくれた。

ことわざ

『他山(たざん)の石』

意味：他人の失敗やよくない言動も、自分を磨くには役に立つという意味。

ひとこと：“他山の石”とはよその山で採れた、質の良くない石のこと。“手本”に使うことはない。

使い方：。隣の街の大火事を他山の石として、われわれの街でも対策を立てよう。

『立つ鳥あとをにごさず』

意味：立ち去った後が見苦しくないように、きちんと後始末をすること。

ひとこと：対義語として『後は野となれ山となれ』がある。

使い方：立つ鳥あとをにごさずだ、キャンプの後は掃除をして帰ろう。